

令和2年5月27日

保護者の皆様方へ

鹿児島県立国分高等学校
校長 山崎 巧

今後の教育活動について(お知らせ)

時下、ますます御清祥のことと存じます。

また平素より本校の教育活動にご理解・ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、県立学校における警戒期間も終わり、先般、国からも緊急事態宣言の全面解除が発表されました。今後は段階的に緩和して、普通の生活に戻していくという新たな対処方針も出されています。

感染警戒レベルは、鹿児島県は最も低いレベル1となり、そのレベルでの対応を進めて参ります。

これまでの保護者の皆様方のご協力、生徒たちの誠実な姿勢について、重ねて感謝申し上げます。陰ながら、いろいろとご苦労された、または今もされているのではないかと拝察します。

文部科学省から5月22日(金)「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～学校の新しい生活様式」について内容が示され、本県としても当面はそれを踏まえて対応することとしています。

つきましては、5月25日(月)からの通常教育活動については、ほぼ従前の形態に戻すこととします。今後の学校での感染症対策の詳細については、月曜日に各学級で生徒に指導しています。

なお、ウィルスはなくなったわけではないので、特にマスクについては常時つけるのが望ましいとされています。しかしながら、夏や梅雨に向かって気温や湿度も高くなっていることから、熱中症等の健康被害が心配される場合、及び体育の時間は、感染対策を講じた上では必ずすることができるとされます。これは学校職員も同じです。ただ、近隣で感染が発生するなどの急な事態や、付ける必要がある集会も考えられますので、必ず着用または携行し、いつでも付けられるように持たせていただくようお願いします。

ただし、以下の点については、厳守するように指導しています。

- ① バスやJR等の公共交通機関を使用する通学については、マスクを必ず付けること。
- ② バスや電車の中では、不要な会話はしないこと。
- ③ 下校後には自宅で必ず手洗いをすること。
- ④ 登校時間・下校時間は学年・担任の指示に従うこと。
- ⑤ 部活動の練習は、通常に戻しますが、対外試合は6月12日(金)まで自粛すること。

としています。

なお、有効性が確認されたワクチンは開発されていないため、今後もこの感染症とともに生活していかなくてはならないというのが国全体の基本的な考え方です。これまでと同様に、発熱等の風邪症状がある場合は学校に連絡して休んでください。欠席扱いではなく出席停止となります。

また、文部科学省の当該文書では、これまで感染の大半はご家庭で起こっていることから、ご家庭でも感染対策を十分行っていただくように、今後ご協力をお願いをされています。

さらに、感染は誰にでも起こりうるものであり、感染者や医療に従事していただいている方々に不当な差別(言動やネットでの中傷)は許されることではなく、このことは学校でも指導していきますが、社会全体で啓発すべきことと思料します。

今後、教育活動の段階的な緩和措置に関する必要な情報は、ブログ等でも発信して参りますので、どうかご覧ください。なお、遅れていた授業や可能な教育活動については、内容を精選しますが、遅れを取り戻すことは極めて難しい点があります。周辺他校とも相談しながら、夏期休業中の授業日設定も考えています。日程については、決まり次第、お知らせします。

保護者の皆様には、引き続き、ご理解、ご協力をお願いしますとともに、どうぞご自愛ください。